

## 会 議 録

- 1 会議名  
平成27年度第1回安田支所庁舎整備検討委員会
- 2 開催日時  
平成27年8月3日（月） 午後7時9分から午後8時39分まで
- 3 開催場所  
安田公民館 2階 憩い室
- 4 出席者（傍聴者を除く。）の氏名（敬称略）
  - ・出席委員  
太田委員、齋藤委員、江部委員、五十嵐委員、小野里委員、柁木委員、  
佐藤委員、星野委員、旗野委員、高橋委員
  - ・市  
田中市長、圓山総務部長  
総務課：小林課長、伊藤安田支所長  
生涯学習課：見原課長  
農業委員会事務局：五十嵐次長  
管財課：西村課長、相馬補佐、長峰主任
- 5 議題（公開・非公開の別）
  - (1) 正副委員長の互選について（公開）
  - (2) 検討委員会の役割について（公開）
  - (3) 安田支所庁舎改築及び安田公民館機能移転に関する検討（素案）について（公開）
  - (4) にぎわいの創出について（公開）
  - (5) その他（公開）
- 6 非公開の理由  
なし
- 7 傍聴者の数  
3人
- 8 発言の内容
  - (1) 正副委員長の互選について（公開）  
委員による互選がないため、事務局から推薦し承認される。

委員長 太田 學、副委員長 齋藤清正

委員長あいさつ

検討委員会の委員長を仰せつかり責任重大ですが、安田支所庁舎の整備によって、旧安田町が阿賀野市全体が活性化するように、委員の皆様を活発なご意見ご協力をいただき、取りまとめて提案したいと考えている。よろしくお願いします。

～以下委員長進行～

## (2) 検討委員会の役割について（公開）

（事務局より、検討委員会の役割について資料に沿って説明）

～質問・意見なし。後でまとめて質問を受けることにする。～

## (3) 安田支所庁舎改築及び安田公民館機能移転に関する検討（素案）について（公開）

委員：

今の段階で安田公民館の場所に安田支所を統合・合併した施設をつくるという説明で良かったか。

事務局：

場所は次の議題としている。安田支所業務と公民館機能を一体とした施設を造ることを考えている。

委員：

資料を見ると安田は人口減少が一番少ない。それなのに、どのような規模になるかまだ分からないが、おそらく今よりも小さくなると思われる。

旧町村をみるとそれぞれ良い施設を持っているのに、安田は劣悪な施設しかなくなるという危惧がある。水原は中心であるので、学校も病院もできて非常に良くなるが、そういう面からすると安田のみなさんの不満が非常にある。安田の支所をなくして公民館に持ってくるという話があったが、不満が出たため現在の支所の場所に建てなおすということになったと思うが、あまりにも安田が見放されているという感じがあるので、ぜひ良いものにしていきたいと思っている。

事務局：

施設については、みなさんの意見を聞きながら審議していきたいと考えている。

委員：

まだ全体像が見えていない。

委員長：

3月まで任期がある。その間、部会もできる規約になっているのでそこでまた検討できればと考えている。意見がまとまった時点で市長に答申と考えている。

委員：

支所と公民館は一緒になる訳だと思うが、この公民館は解体されるのか。

事務局：

この建物については解体の方針は出していない。

委員長：

解体しても遺跡調査が必要になるのか。

事務局：

解体しても掘らなければ調査の必要はない。

委員長：

以前建物を建てる時に掘ったと思うが、それでも調査が必要なのか。

事務局：

当時はどのような調査をしたかわからないが、改めて調査は必要。

委員：

遺跡調査には時間がかかるものだが、早く終わっている遺跡調査がいくつかある。

例えば、遺跡があることが分かっていて、それがいつ頃のもので、文化財の色々なところからの補助金を考えていけば教育委員会の方にわたる事案だと思うが、そこはどのように考えているのか。遺跡があり時間とお金が掛かり面倒だから掘らないのではなく、それもひとつの阿賀野市の財産だと考えていただきたい。

事務局：

何時代のどんなものが埋まっているか、担当ではある程度把握していると思う。こと遺跡になれば、試掘・本調査という流れになり、なかなか難しい。

委員：

コストの削減ということがあるが、オリンピックのことでみなさんご承知だと思うが、そのようなことが無いように建設コストについては十分考えていただきたい。

これからは子育て世代を見ていかないといけなく、良いまち・市に定着していただかないと人口は増えていかない。

コスト削減も中途半端なものではなく、今できる良い設備で、何十年も続けていけるような、ベストなコスト削減を考えていただきたい。

委員：

安田公民館は残すということか。説明では安田支所も公民館も耐震化はなされていないということだか。

事務局：

具体的には決まっていないが、使わなくなる可能性はある。施設として使用しないということになると、その時点の判断だが、壊すのも一つの方法であり、別な利用方法があればそれでも良い。今のところはどうか決まっていないので皆さんのご意見をいただきたい。

委員：

公民館に支所を移すことが一番安上がりだと思ったのだが耐震化されていないとのこと。壊すことについて、この公民館の場所だと遺跡の調査が必要になるが、支所の場所だと遺跡は関係ないということで、一番やりやすいのは安田支所の場所ということで良いか。説明だと他は土地が狭く形が悪いから除外、体育館駐車場は遺跡がでる可能性があるから除外、だから現在の支所を解体してその場所に建てなおすのが良いという説明で良いか。

事務局：

そのとおり。

委員：

コスト的にはどうなのか。ある程度試算しているか。

委員：

いまの場所に支所と公民館を併設するのは無理なのでは。敷地も限られている。

事務局：

公民館の利用状況を見ていただくと、1階の大会議室が一番利用率が高い。ほか憩い室や大会議室、また城のうちの利用を見たらうえて、利用しているところを集約していければと考えている。新しい施設に今使っているスペースを組み上げていけば適正な規模になるのではないかと考えている。

委員：

資料では安田の公民館の利用状況しか載っていないが、他の公民館の利用状況はどうか。それほど他の施設と比べて見劣りするものではないと思う。次の資料として他の施設の利用状況を出してほしい。

事務局：

準備する。

委員：

この公民館を解体して更地にして他の用途に使用しようとした場合は遺跡調査が必要になるのか。住宅でもそうか。

事務局：

掘る作業が必要になれば試掘調査が必要になる。

委員：

例えば駐車場なら良いか。住宅でも何か建物を建てようとする掘らないといけ  
ないから調査が必要ということか。

事務局：

そのとおり。試掘し、何か見つければ本調査という流れになる。

委員：

数年後には山手小学校、赤坂小学校は保田小学校に統合されることになっている  
が、そうなる運動会などに遠くからくる保護者の方の駐車スペースを広くする必  
要がでてくると思うが、その場合この公民館の場所を更地にする可能性も考えられ  
るのでは。

事務局：

考えられる。少し話は変わるが、数年後には安田体育館を耐震化しなければなら  
ないという方向で動いている。そのときに公民館とどうするかという話になる。

委員：

体育館はなくなるということか。

事務局：

体育館はなくすことはできないと思われる。耐震化する。

委員：

文化協会の総会になると、旧安田町のときからステージのある施設をつくってく

れと言っている。合併時に他の地区は良い施設を建てたが、安田の施設はどれも古くなっており安田が一番損していると言っている。旧安田町民はみんなそう思っているはずだ。ここでまた変なものを造られたら困る。絶対に良いものを造ってもらいたい。

#### (4) にぎわいの創出について（公開）

事務局：

にぎわいの創出については、いろいろな意見を頂戴し一緒に検討していくこととする。

委員：

農業委員会について、以前地域審議会に出させてもらったときに、耐震化されていないのでいずれどこかに移すという話を聞いていた。笹神地区は世帯の半分以上が農家だということで笹神支所に農業委員会を持っていくということだが、農業委員の方は安田で会議をやるのが不便と言っている方がいるのか。

事務局：

農業委員の方がそのように思っていることはないと思う。

委員：

新しい施設ができればそこで会議したいと思うのでは。笹神支所に農業委員会を持っていくことが果たしてにぎわいなのか。みんなが使える施設でみんなが集まれる施設を造ろうという検討会である。人の気持ちは数字だけでは表せない。何でもかんでも数字で表して農業委員会は笹神に持っていくでは面白くない。安田で会議をするのが嫌だという意見がないのであればこれまでどおり安田で行えば良いのではないかと思う。

委員：

笹神は教育委員会と農業委員会と2つ拠点ができるということか。それはおかしい。なぜそうなるのか。

委員：

今の説明を聞くと建物を縮小したいからとしか思えない。赤字の阿賀野市ではお金をかけないに越したことはないが、安田の農業委員の気持ちになると、これまで安田で会議をしていたものを今度は笹神まで行かなくてはならないという不満は出ると思う。

委員：

今まで安田でやっていた理由があると思う。急に農家が減った訳でもない。笹神は農協も独立している。なぜか。

委員：

それであれば水原に持って行った方が良い。

委員：

今、水原は事務所がいっぱいなので、笹神に空きスペースがあるからそちらに持っていくとの説明だった。それであれば新しく建てるのになぜ縮小なのかというとお金の問題ではないか。そういう事情であれば農業委員会に話をして納得してもらわないといけないのではないか。農業委員会には話を持ちかけているのか。

事務局：

正式には話をしていない。

委員：

農業委員会がなくなって縮小するということはおかしい。にぎわいにはつながらない。

委員：

にぎわいの創出とはいいながら、今の公民館の利用状況に合わせて施設をコンパクトにして新しい支所と公民館を併せた施設をつくるというように思えるが、にぎわいといいながら施設の縮小を考えていることはどうかと思う。

また、安田 I.C.があるのににぎわっていない。よそから人を呼び込む施設があるといいと思う。

委員：

農業委員会のことは農業委員会に持ちかけたらどうか。この場で話すことではないのでは。

委員：

この委員を命ぜられたことは責任重大。支所をどうするかは重大な転換期で、非常に町民も注目している。簡単に市役所の言うとおりにいうわけにはいかない。委員のみなさん真剣に考えましょう。

委員長：

ここにいる委員は全員同じ気持ちでいると思う。

この場所は昔は田んぼと畑、それから安田城址があったところ。あつという間に体育館、公民館が出来て様変わりしてしまった。

自治会が抱えている問題として、コミュニティセンターの後ろに遺跡があり、センターの前の道路は、大雨が降るといつも水が上がる状態で排水ができていない。市役所をお願いしてもなかなか解消されない。

安田支所が改築されるとなると、周りの環境がまだ整っていない。そこも考えていただきたい。具体的に言うと支所の裏手に今にも潰れそうな家がある。所有者は県外にいるのだが、そこも加工料にいられていただいて、そうすればある程度みなさん満足いくような施設ができるのではないかと考えている。過去に地震が何度もあったが、ここは非常に地盤が良い。その点を考えたら、今の安田支所を中心に考えていければ良いのではと考えている。

事務局：

委員からの意見で、ほかの地区から流入するような施設ができればという意見がでたが、それがにぎわいにつながるのではと考えている。その方向で新しい施設を検討していきたいと考え、今後みなさんから意見をいただきたいと思う。

委員：

にぎわいについては、この地区は道路条件も良いし、鉄道はないが、人が集まれる地域だと思っている。にぎわいについては、支所をつくるためのにぎわいということになると、お金をつかって別の場所をみつけるとか大ナタを振るわないのにぎわいにつながらない。

委員：

そこにずっと住んでいる人、実際に観光や商工に携わっている人はいつも知恵をしぼって地域の活性化を考えている。今委員になったから慌てて考えているのではなく、何十年も前から一生懸命考えているから、様々な分野からこうして委員に選ばれたと思っている。そういうところを認識しているのかと思う。それぞれの立場でみなさん知恵を絞りながら良い施設ができればと思う。

事務局：

安田地区は、商人・職人の街。そうした情報も発信できる施設になれば良いと思っている。

委員：

安田地区はだからまとまる。気質というのがあると思う。

委員：

体育館と公民館と離れることの不便性はないか。

事務局：

体育館利用者は体育館で活動して帰るということで特に不便はないと思われる。

委員：



会議の予定は今後3回ということだったがそれで十分なのか。今日は説明で、みなさん意見もいったが、あと3回の会議で本当に良い庁舎などできるのか。まだまだ意見は出足りない。3回ですむのであれば行政の説明だけで終わるのではないかと思われてくる。ぜひ流動的に考えていただきたい。

委員長：

3月まで任期があり、部会もできる規約になっている。安田地域が発展していくことが阿賀野市の発展につながる。にぎわいの創出についてはもう少し時間をかけていきたいと思うがいかがか。

委員：

結果ありきではなく、安田の住民の意見を良く聞いてつくり上げてほしい。安田地域はまとまりが良く協力的である。住民の意見を軽視するととんでもないことになる。

事務局：

皆様の意見を聞いていると簡単にまとまるものではないと改めて認識している。次回また内容を精査してまとめていきながら、意見が集約できないようであれば、会議も3回というわけではなく、延ばすことも必要と考える。にぎわいが果たしてどのような形でつくりこめるのか考えていきたい。今後毎月のように会議を進めていきたいと思うのでよろしくお願いしたい。

市長：

色々なお話が聞けた。説明がいささか不十分なところ、混乱させるところがあっ、誤解を与えるようなところがあった。委員長と相談し早めに第2回目の会議を開かせてもらいたい。皆様の意見を踏まえて再度な説明をさせていただき、それをベースに議論をさせていただきたい。

決して安田地区を無視しているようなことはない。よりよいものをみなさんによるこんでいただけるものをつかっていきたいというのが本音。資料を持ち帰って中身を精査した中のご意見をいただきたい。

委員長：

みなさんにはご協力をお願いしたい。

(5) その他（公開）

特に案件なし

～ 閉 会 ～

9 問い合わせ先

阿賀野市総務部管財課財産管理係

TEL : 0250-62-2510 (内線 272)

E-mail:kanzai@city.agano.niigata.jp